

ミニケースラッチ 仕様 E・H・K型座 レバーハンドル錠 取付説明書 (空錠・内締錠・表示錠・シリンダー錠)

一般住宅屋内用
(浴室は除く)

取付けをされる業者の皆様へ

取付後、本書は必ず御施主または御入居様へお渡し下さい。

取付上の注意

※本製品は、玄関や屋外では使用しないで下さい。

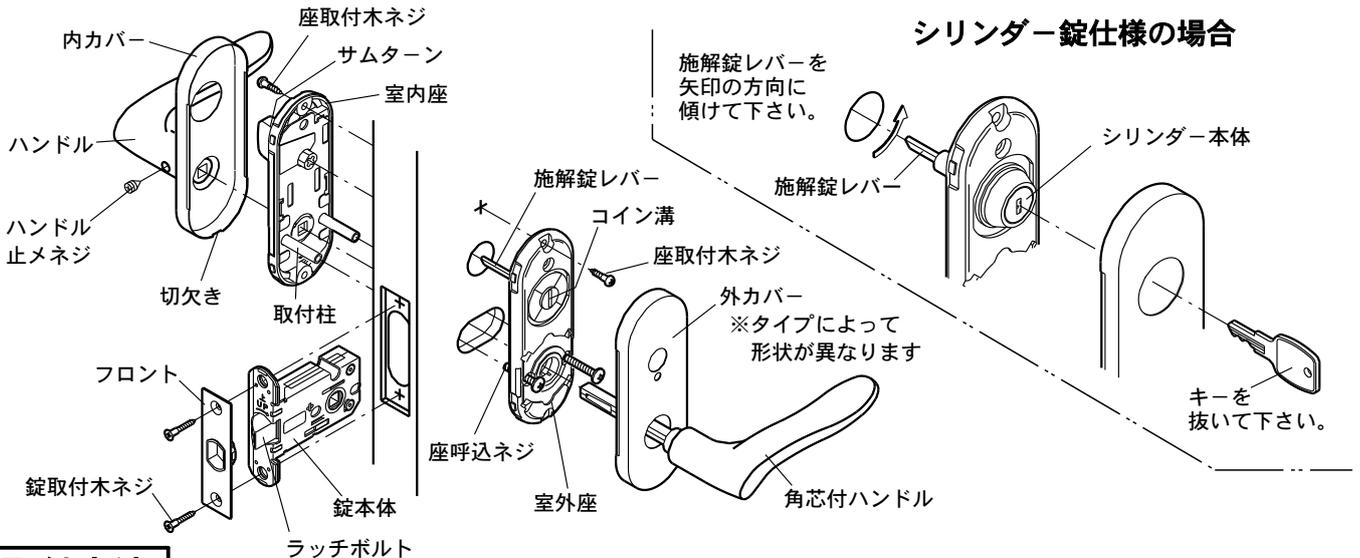
※本製品は座に施錠錠機構がある仕様となっております。LVSケースロックと併用しないで下さい。

※座呼込ネジは必要以上に強く締め付けしないで下さい。

扉本体を変形させたり、錠の機能に支障をきたす恐れがあります。



電動ドライバーは
使用しないで下さい。



取付方法

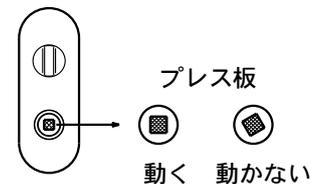
1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みをして下さい。
2. 錠本体を刻印の向きに差込んで下さい。
3. ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから、フロントの刻印を下にして取付け、錠取付木ネジで固定して下さい。
4. 室外座のコイン溝及び、室内座のサムターンを縦にして、室外座の施錠錠レバーを室内座のサムターンの十字穴に差込み、内外の座を組み合わせます。
5. 芯出しのため、内外の座を座呼込ネジで仮止めし、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締め付けて下さい。
座取付木ネジを使わないと座が浮いてしまいます。必ず、使用して下さい。
また、サムターンを回して正しく施錠錠するかどうか確認して下さい。
6. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーを切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
8. ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けて下さい。

シリンダー錠仕様の場合

9. キーをシリンダー本体から抜いて下さい。
10. 右上図のように施錠錠レバーを傾け、室内座のサムターンを縦にして内外の座組み合わせます。
ドアを開けたまま、サムターン及びキーを回して、正しく施錠錠するかどうか確認してください。

サムターンの 試し動きをされる時

プレス板が傾いているとサムターンは回りません。ハンドルの取付時と同じ水平状態にして、サムターンを回して下さい。



取扱上の注意

1. ネジがゆるんだ状態で使用していると、錠に負担がかかりドアが開かなくなる重大な事故になる場合があります。ネジの増し締めをお願いします。
2. レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないで下さい。

表面のお手入れについて

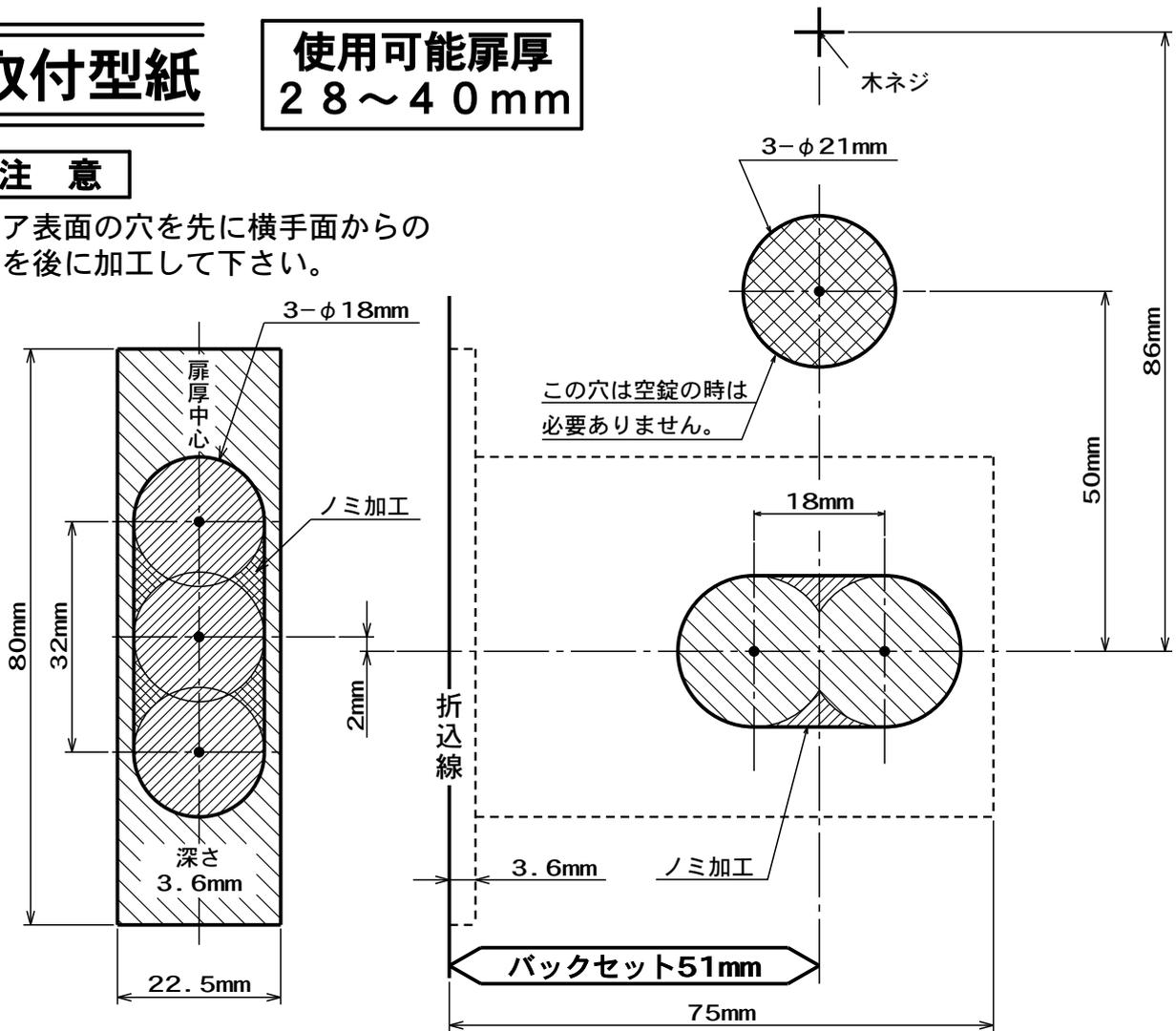
1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

取付型紙

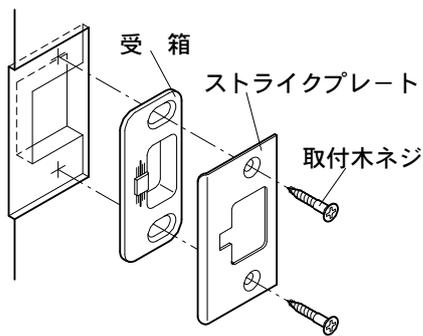
使用可能扉厚
28~40mm

注意

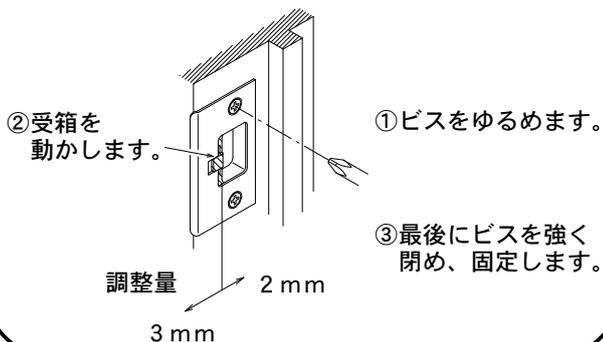
ドア表面の穴を先に横手面からの穴を後に加工して下さい。



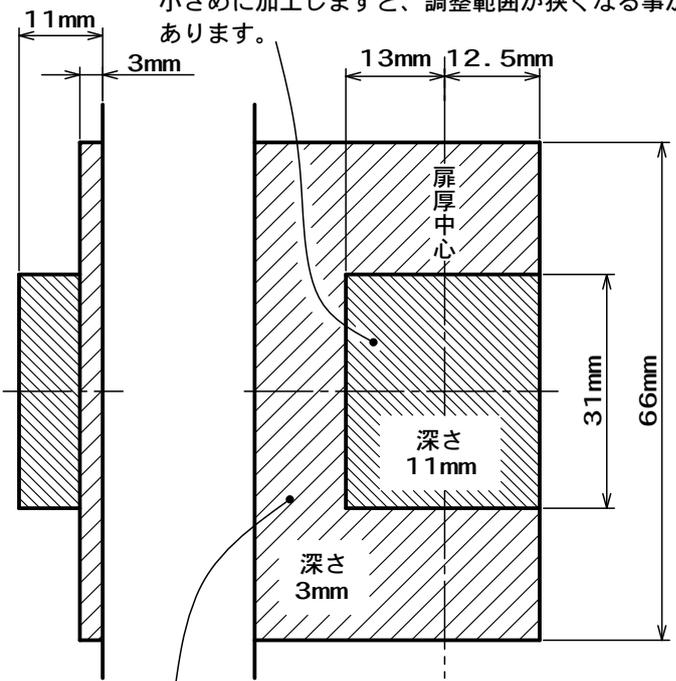
調整ストライク取付図



受箱の調整方法



※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。



※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。